

かつて阿賀野川や新潟平野の独自の風土と格闘しつつ、そこから豊かな恵みを生み出すことに成功した農村や漁村と、そこに息づいてきた伝統文化。しかし、戦後も発展を続ける中、新潟水俣病が表面化した昭和40年代を境に、地域社会は急速に変容を遂げていく。

早春の堤防（昭和17年、阿賀野川河川敷） 撮影：鈴木孝衛氏 写真提供：新潟市

パネル巡回展

阿賀野川と大地が織りなす光と影

～大河と共に生きてきた半農半漁の地域～ 【後編】

阿賀野川下流域の光と影の歴史をテーマとしたパネル展を、下記の各施設等で開催します。〈観覧無料〉

●通常パネル展示会場(※) (※A1サイズ・ミニパネルと同内容)

期間	会場	時間
2014 2/22 ~ 3/7 *毎週(土・日)休館	岡方コミュニティセンター	9:00 - 17:00 (2/22のみ 9:00 - 13:00)
3/12 ~ 3/26 *毎週(金)休館	新潟市立豊栄図書館	10:00 - 19:00 (日・祝10:00 - 17:00)
3/29 ~ 4/13	横越老人福祉センター 横雲荘	9:00 - 16:30
4/16 ~ 4/30 *4/27休館	北地区公民館	9:00 - 21:00 (日・祝9:00 - 17:00)
5/2 ~ 5/18	新潟市東区役所 南口エントランスホール	8:30 - 17:30
5/20 ~ 6/4	新津地域学園	9:00 - 21:00
6/9 ~ 6/20 *毎週(土・日)休館	新潟県立大学	8:30 - 17:15

●ミニパネル展示会場(※) (※A2サイズ・通常パネルと同内容)

期間	会場	時間
2014 2/22 ~ 3/9	松崎湯つたり苑	10:00 - 24:00
3/12 ~ 3/26	新潟せんべい王国	9:30 - 17:00
3/31 ~ 4/11 *毎週(土・日)休館	木戸病院	8:00 - 17:00
4/16 ~ 4/30	下越病院	9:00 - 17:00
5/2 ~ 5/18	プラント-5横越店 「横越サロン」	10:00 - 17:00
5/21 ~ 6/4 *毎週(土・日)休館	松浜本町商店街 松浜こらぼ家	9:00 - 17:00
6/7 ~ 6/20	高森稲荷神社	屋外終日 (※夜間照明なし)

阿賀野川の下流域で織りなされた光と影の歴史を通じて

阿賀野川下流域の沿岸にはかつて多くの農村が点在し、人々は阿賀野川と新潟平野がもたらす独特の厳しい風土と格闘しつつ、時には阿賀野川の恵みを生活に巧みに取り入れながら、眼前に広がる土地を粘り強く開墾し改良を積み重ねてきました。そして、戦後の豊かさと相まって、ついには豊穡の実りをもたらす大稲作地帯を手に入れたものの、やがて新潟水俣病が表面化した昭和40年代を境に農業や漁業は徐々に停滞していき、地域社会も急速に変容を遂げていきます。こうした歴史の光と影を描き出したパネル作品を6月半ば過ぎまで巡回展示しますので、どうぞご覧ください。



高森の大ケヤキと稲荷神社(撮影・提供:宮崎芳春氏)



牛が舟を引く稲刈り(撮影:山口眞俊氏)



高森いざや神楽



阿賀野川水泳指導

(上記写真3点提供:新潟市北区郷土博物館)

「阿賀野川と大地が織りなす光と影【前編】」ご紹介

※展示希望者には無料で貸し出し中! お問い合わせください。

平成
24年

阿賀野川と大地が織りなす光と影 ～ 大河と共に生きてきた松浜・横越 ～ 【前編】

かつて大河と街道が交差する要衝として、人々が賑やかに行き交った阿賀野川下流域の松浜・横越。戦後も発展を続ける中、新潟水俣病が表面化した昭和40年代を境に、地域社会は急速に変容を遂げていく…。

今回パネル展示作品の前編に当たり、松浜と横越を題材にしています。



阿賀野川と大地が織りなす光と影
～ 大河と共に生きてきた松浜・横越 ～ 【前編】

■お問合せ先

一般社団法人あがのがわ環境学舎

TEL&FAX: 0250-68-5424

E-mail: aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業とは?

通称「阿賀野川え～とこだプロジェクト」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。